

わたしの 妊娠報告書

記載日 2025年10月17日

おめでた宣言日	2025年 2月
年齢 (40) 歳	平成・令和 (3) 年 (3) 月 結婚
私は (顕微授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(1) 年 (6) ヶ月
他院での治療歴	<input checked="" type="checkbox"/> なし あり→内容 ()
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 (4) 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 (6) 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST法 () 回	
<input type="checkbox"/> 体外受精 (2) 回) 合わせて3回 (移植4回)
<input type="checkbox"/> 顕微授精 (2) 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

体外受精(顕微授精)合わせて3回の移植を行いました。
妊娠に至るとは疑い、(冬でしたので)体を温めることと意識しました。
具体的に、職場で足元は電気ヒーターを置く、お腹にカイロを貼る、
週に1回(月経前以上のウォーキングをする等)しました。毛も冷えて汗かかると
水分も蒸発しやすい手質もあったので、それが改善されたことか良かったのかな
と思います。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

就職の都合いで39歳で治療開始。不妊について深刻に考えていた中で人工受精がまだらうと安易に考えていました。そのため、人工受精で僅小生が系統いたと至は落ろちおました。体外では、自己注射、全身麻酔での採卵がとこ怖かったのですが、なんとか乗り越えられました。移植は、保険適応の6回までと決めていたのに、2回連続陽性にもならずたから、Tのは辛かったです。結果、3回目の移植後はスムーズに心拍確認まで出来ました。毎週の診察、テストがでけ。

その他 (通院・治療費・家族など)

タイミング4回、人工受精6回後、体外に移りました。年費もあり、早い段階でステップアップしたのは、6ヶ月で月間6回に金銭的にも良いかと思えます。治療費は限度額があるので、採卵後の月も高額にはなりません。私は生駒市に補助が体外受精以外の費用の一部が返ってきました。通院に関しては、天がとんとんて流れてくれたことが1に大変でした。

治療中の方へのアドバイス

私は、人工受精のタイミングが職場を変えました。不妊治療をするという前提で、不妊のため、周りも理解・サポートしてくれ、精神的負担が減りました。(前の職場は残業も多く、急な休日をとりやすかった) 資格職なので転職しやすかったのもあります。今の職場だと育児休取も仕事の調整しやすいので、産後からは視野に入れて身の振り方を考えるのが大事だと思います。

スタッフへのご意見など

私は精神的に不安に感じやすく(服薬はしていない程度)、自己注射の練習は血圧が下がりにくく、卵管造影の痛みがピークになりましたが、看護師さんがその都度気にかけてくれて、手を握ってくれて、安心して治療を受けました。ありがとうございました。今年にあやかのとうございました。来年も、移植の時に「上手に出来ますように」と声をかけて頂けると嬉しいです。心より御礼申し上げます。

